

し せ き い わ し み す は ち ま ん ぐ う け い だ い は っ か く ど う
史跡 石清水八幡宮境内(八角堂)



男山にある石清水八幡宮の境内は、建物^{けいだい たてもの}をふくめ日本の歴史^{れきし}にとって大切なものが多く残っているため、国の史跡^{さだ}に定められました。八角堂も、むかしは同じ敷地内^{しきちない}にありました。いまは離れた^{はな}ところにありますが、同じく日本の歴史を伝える貴重^{きちょう}な建物です。そのため、八角堂があるこの場所も、併せて^{あわ}国の史跡になりました。

～八角堂の移り変わり～

約 800 年前^{やく ねんまえ} …石清水八幡宮の敷地内^たに建てられた

…約 420 年前に、こわれたので建て直された^{なお}

…約 320 年前に、また建て直された

約 150 年前^{やく 150 ねんまえ} …いまの場所^{ばしょ}に移された^{うつ}。

いま …こわれたところが直された

建物^{なか}の中にあつた仏像^{ぶつぞう}と
いっしょにおひっこし！

➤➤➤ 約 150 年前^{おな 150 ねんまえ}と同じ色と形^{いろ かたち}にもどった！

いま八角堂は…

史跡綴喜古墳群^{つづきこふんぐん}のなかのひとつ、
八幡西車塚古墳^{やわたにしくるまづかこふん}という、約 1600 年
前^{はか 1600 ねんまえ}のお墓^{うへ}の上にあります

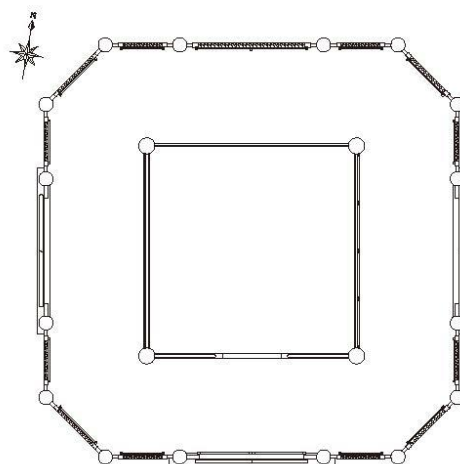


八幡西車塚古墳^{たけ き}（竹や木でおおわれています）

ちゅうもく ～八角堂のここに注目！～

◆隅切り形八角

八つの角がある建物だから八角堂。八幡市の八角堂は、正方形のすみっこを切り取ったらできる形だから、【隅切り形八角堂】とよんでいます。これは、全国でもめずらしい形です。



▲八角堂平面図



◆さいしき 彩色

八角堂をくわしく調べたところ、むかしに描かれていた模様や色がわかりました。こわれたところを直したときに、色もきれいに塗り直しました。一部、塗らずにそのまま残しているところもあります。

◀色鮮やかに塗り直された柱

◆おにがわら 鬼瓦

鬼瓦とは、建物の屋根にある飾り瓦のことです。八角堂には16枚の鬼瓦があります。どれも鬼の顔がデザインされていますが、すべて違います。



▲三面鬼の瓦

これは、1枚の鬼瓦の
中に鬼の顔が3つ！